

秘書広報課

1 秘書関係

(1) 市長会及び副市長会

令和4年度に出席した市長会及び副市長会は、次のとおりであった。

区分	名称	出席回数
市長会	兵庫県、東播・北播・淡路市長会、兵庫県市長会理事会等	13
副市長会	兵庫県、東播・北播・淡路副市長会等	4

(2) 広域行政等に関する会議等

令和4年度に出席した広域行政等に関する主な会議等は、次のとおりであった。

名称	出席回数
命と暮らしを守る道づくり全国大会、兵庫県市町懇話会、兵庫県高齢者医療広域連合議会、三木市官公庁等連絡協議会等	64

(3) 儀式等

令和4年度に出席した主な儀式等は、次のとおりであった。

名称	出席回数
戦没者追悼式、夏の義民祭、水難防止祈願祭、冬の義民祭、三木市成人式、別所長治公祥月命日、全国高等学校・中学校ゴルフ選手権大会春季大会、常設型金物鷺完成式典等	83

(4) 令和5年新春賀会の開催

三木市・三木商工会議所合同により、官民関係者が一堂に会する新春賀会を開催した。

- ア と き 令和5年1月5日（木）
- イ と ころ ネスタリゾート神戸
- ウ 参加人数 242人
- エ 内 容 式典、祝宴

2 広報関係

(1) 「広報みき」の発行

市政の動きやお知らせを内容とした「広報みき」を発行した。

「広報みき 2022年10月号」が、第34回（令和4年度）近畿市町村広報紙コンクールにおいて優秀賞（2席）と、第70回（令和4年度）兵庫県広報コンクール 広報紙部門（市の部）において佳作に選ばれた。

- ア 体 裁 A4判 32～40ページ
- イ 発行日 毎月1回 1日発行（1月号は3日発行）
- ウ 発行部数 28,000部（令和4年4月～11月）、27,000部（令和4年12月～令和5年3月）
- エ 印刷経費 10,278,713円（消費税額等を含む）
- オ 配布先 市内全世帯、関係機関等
- カ 配布方法 新聞折り込み（朝日、神戸、産経、日経、毎日、読売の日刊6紙）
新聞未購読世帯へはシルバー人材センターを通じて宅配
- キ 配布経費 8,496,382円（消費税額等を含む）

発行日	号数	ページ数	主 な 内 容
R4.4.1	930	36	・特集1 令和4年度三木市施政方針 ・特集2 みんなで選んだ新しい三木駅舎が完成！ ・みきのええトコ 三木の桜
R4.5.1	931	36	・特集1 令和4年度当初予算の概要 ・特集2 三木市ではじめるサイクリング

			・みきのええトコ みきっこランド
R4.6.1	932	36	・特集 地域防災・減災ってどんなこと？ ・シリーズ 持続可能な財政基盤の確立に向けて ・みきのええトコ あじさいフローラみき
R4.7.1	934	32	・特集 将来をいきいきと暮らすために そうだ！健診・検診に行こう！ ・みきのええトコ 三木ホースランドパーク
R4.8.1	935	32	・特集1 本を読むだけなんでもったいない！魅力い っぱいの図書館 ・特集2 8月は人権尊重のまちづくり推進強調月間 人権について考えてみませんか？ ・みきのええトコ 酒米、日本一の田園空間
R4.9.1	936	32	・特集1 人生100年時代をいきいきと過ごすために ・特集2 令和3年度決算見込の概要 ・みきのええトコ 旧小河家別邸
R4.10.1	937	36	・特集 こんなところにも三木金物～時代を、地域を超 えて～ ・みきのええトコ 上田桑鳩
R4.11.1	938	40	・特集1 2025年大阪・関西万博に向けた三木市の地 方創生 ・特集2 地域の救急を守る ・みきのええトコ 金物鷺
R4.12.1	939	32	・特集1 若者が考える！～三木若者ミーティング～ ・特集2 小中一貫教育の推進～実践推進校の着実な 歩み～ ・みきのええトコ 道の駅みき×かじやの里メッセみ き
R5.1.3	940	32	・特集1 新年のごあいさつ 市民の皆様が新年への思いを語る ・特集2 2022年三木市政 10大ニュース ・みきのええトコ E-ディフェンス
R5.2.1	941	32	・特集1 令和4年度三木市二十歳の祝典 ・特集2 日本一の酒米山田錦の未来のために ・特集3 20年、30年先の未来を見据えて、持続可能 なまちをつくる ・みきのええトコ 旧玉置家住宅
R5.3.1	942	32	・特集1 深化進む、ゴルフのまち三木～第43回春 高・春中ゴルフ開催～ ・特集2 みんなの思いがまちを変える ・みきのええトコ 黒滝

(2) 記者発表の実施

主に日刊紙（朝日、神戸、産経、毎日、読売）各記者及びエフエムみっきいを対象に市の主な施策や行政情報、各種行事などを発表した。

(3) 市政行事予定（市政週報）の発行

ホームページのイベントカレンダー機能を活用し、各課が入力した市政行事をもとに翌週の行事を日毎に編集。木曜日に「市政行事予定表」として報道機関などに配布した。

(4) エフエムみっきいを活用した広報活動

ア 三木市からのお知らせ、三木市の窓

市政情報を提供し、定時に放送した。

(ア) 三木市からのお知らせ (月～金) 1日2回 (各5分)

(イ) 三木市の窓 (月～金) 1日3回 (各30分)

(ウ) 三木市からのお知らせ (土・日・祝日) 1日1回 (各10分)

イ 仲田一彦の市政一直線

市長が出演し、市政情報などを放送した。

(ア) 放送日時 原則第1金曜日 午前11時25分から (約15分間)

(イ) 放送開始 平成29年10月から

ウ 経費 16,775,000円 (消費税額等を含む)

(5) ホームページによる市政情報の周知

ア 概要

適時の情報提供による市民サービスの向上をめざし、ホームページ活用による市政情報や緊急情報などの発信を行った。

イ 経費 1,847,043円 (消費税額等を含む)

(6) SNSを活用した情報発信

ア ツイッター・フェイスブック

市政をより身近に感じていただける情報発信をめざし、市の取組やイベント情報などの投稿を行ったほか、市の歴史を振り返る投稿を行った。

(ア) ツイッター投稿数 1,451件

(イ) ツイッターフォロワー増減数 374人

(ウ) フェイスブック投稿数 591件

(エ) フェイスブックフォロワー増減数 71人

イ ユーチューブ

市政をより身近に、より分かりやすく伝えるため、新型コロナウイルス感染症対策やエフエムみっきいのラジオ番組「仲田一彦の市政一直線」の動画などを配信した。

(ア) 投稿数 16本

(イ) 経費 1,320,000円 (消費税等を含む)

ウ インスタグラム

移住定住の促進や観光客の増加をめざし、令和4年4月28日に開設し豊かな自然や話題性の高いものなど、市の魅力を写真や動画で市内外に発信を行った。

(ア) 投稿数 98件

(イ) フォロワー数 1,063人

(7) 広報アドバイザーの任用による情報発信強化

ア 期間 令和4年5月～令和5年3月

イ 勤務日数 月2回

ウ 内容 非常勤の特別職として広報アドバイザーを1名任用し、広報に関する職員の意識改革に向けた研修会を開催したほか、情報の魅せ方や報道機関との関係づくりなど効果的な情報発信を推進するための助言を受けた。

エ 研修概要

(ア) 開催日時 令和4年7月28日、29日 午前10時30分～正午

(イ) 対象 各所属長および広報連絡員

(ウ) 参加人数 計74人

オ 経費 660,000円 (消費税額等を含む)

3 広聴関係

(1) 相談業務の実施

市民ニーズの高い相談窓口を設け、専門家などによる相談業務を実施した。

ア 行政相談

- (7) 行政相談委員 井上達夫 奥野保 森由美子
 (イ) 実施日時 ①毎月第3水曜日 午後1時30分～3時30分
 ②奇数月第2金曜日 午前10時～正午
 (ウ) 実施場所 ①市役所2階 入札室
 ②吉川支所 相談室

イ 法律・土地境界相談

- (7) 実施主体 司法書士・土地家屋調査士三木地区協議会
 (イ) 実施日時 毎月第2水曜日 午後1時30分～4時30分
 (ウ) 実施場所 市役所2階 入札・入札控室

ウ 弁護士による法律相談

- (7) 実施主体 兵庫県弁護士会
 (イ) 実施日時 毎月第3木曜日 午後1時30分～4時30分
 (ウ) 実施場所 市役所2階 入札室
 (エ) 経費 453,120円 (消費税額等を含む)

エ 建築なんでも相談

- (7) 実施主体 兵庫県建築士事務所協会ほか
 (イ) 実施日時 毎月第2・4金曜日 午後1時～3時30分
 (ウ) 実施場所 市役所2階 入札室

(2) 「市民の声の箱」の設置

「市民の声の箱」を設置し、市民の意見を広く聴取した。

- ア 設置箇所 市役所及び吉川支所、各市立公民館
 イ 投書件数 85件

(3) 電子広聴

市民から寄せられたメールへの回答を行った。

市長メールの件数

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10	9	20	10	8	15	11	9	10	12	3	15	132